



令和元年9月3日
内閣府（防災担当）

令和元年防災功労者防災担当大臣表彰式について

標記式典を下記のとおり執り行うのでお知らせします。

記

1. 日 時：令和元年9月9日（月）9時30分～
2. 場 所：中央合同庁舎第8号館1階講堂
3. 出席者：防災担当大臣 ほか
4. 取 材：表彰式はカメラ撮り可

【本件問合せ先】

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（総括担当）付 難波、上田、山尾

電話：03-3501-5408（直） FAX：03-3503-5690

令和元年 防災功労者防災担当大臣表彰受賞者名簿

○ 個人

〔防災体制の整備〕

中川和之	(内閣府防災)
浜口博之	(岩手県)
松原一郎	(兵庫県)

〔災害時の防災活動〕

加藤典子	(日本赤十字社)
矢部祐二	(日本赤十字社)

〔防災思想の普及〕

舟橋壮介	(福島県)
井上剛弘	(三重県)
大藪司朗	(福岡県)
尾畠春夫	(大分県)

○ 団体

〔防災体制の整備〕

旭南地区自主防災組合連合会	(秋田県)
泉台自主防災会	(埼玉県)
片瀬区自主防災会	(静岡県)
宮路町内会自主防災会	(愛知県)
今熊野学区自主防災会	(京都府)
新建自治会	(広島県)
津田新浜地区自主防災会連絡協議会	(徳島県)
佐古自主防災会連合会	(徳島県)
加茂地区自主防災連合会	(徳島県)
練兵町自主防災クラブ	(熊本県)
株式会社 ゼンリン	(全国社会福祉協議会)

〔災害時の防災活動〕

矢野南学区自主防災会連合会	(広島県)
馬木地区社会福祉協議会	(広島県)
畑賀学区連合町内会	(広島県)
瀬野学区コミュニティ交流協議会	(広島県)
日本赤十字社大阪府支部防災ボランティア運営委員会	(日本赤十字社)

〔防災思想の普及〕

小川地区自主防災協議会	(岩手県)
中越市民防災安全士会	(新潟県)
御岳防災会	(愛知県)
三入学区自主防災会連合会	(広島県)
糸島市防災協会	(福岡県)
千葉県赤十字防災ボランティア推進協議会	(日本赤十字社)

以上、31件(9個人、22団体)

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 氏 名	な かが わ か ず ゆ き 中 川 和 之
住 所	神奈川県横浜市
職 業	時事通信社解説委員、静岡大学防災総合センター客員教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は防災情報の普及啓発において優れた成果をのこしており、災害被害を軽減する国民運動や防災ボランティアの推進などの自助・共助推進において貢献しているほか、防災行政へ有用な提言を行うなど、その活動は非常に幅広いものである。</p> <p>防災行政においては中央防災会議専門委員、内閣府「災害時の避難に関する専門調査会」委員(平成22～24年)をはじめ、「家具等転倒防止対策の推進に関する検討委員会」委員(平成23～24年)、「災害被害を軽減する国民運動に関する懇談会」委員(平成21年)、「大規模災害発生時における情報提供のあり方に関する懇談会」委員(平成18～19年)、「防災ボランティア活動検討会」委員(平成17～25年)、「防災教育チャレンジプラン」実行委員会委員(平成19年～)、「TEAM防災ジャパン」アドバイザー(平成26年～)等に就任し、防災情報や知識の普及啓発、自助共助の推進に係る数多くの提言を行っている。</p> <p>以上のとおり、防災情報普及の専門家として幅広く活躍し、防災行政における貢献度は絶大である。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	岩 手 県
ふ り が な 氏 名	はまぐち ひろゆき 浜 口 博 之
住 所	宮城県仙台市
職 業	東北大学名誉教授
功 績 の 概 要	<p>平成10年、岩手山で火山性地震が急増し、微動や地殻変動も観測され、噴火の可能性が指摘される中、岩手県は同年に「岩手山の火山活動に関する検討会」を設置し、観測情報を収集・評価し、総合的な防災対策のあり方の検討を行った。同氏は、発足当初から同検討会の委員として適時適切な助言を行うとともに、同氏が整備した地震計・傾斜計などによる観測網は、早期の効果的な防災対策の実現と、その後の段階的な入山規制の緩和の判断に大きく貢献した。</p> <p>現在も、本県に所在する3つの常時観測火山を対象に検討を行う機関として設置した「岩手県の火山活動に関する検討会」の委員に就任し、岩手山のほか、秋田駒ヶ岳、栗駒山の各火山防災対策について適切な助言をしている。</p> <p>また、栗駒山の火山災害に対する防災体制の構築を推進することを目的として、活動火山対策特別措置法（昭和48年法律）に基づき設置した「栗駒山火山防災協議会」の委員に就任し、ハザードマップや避難計画等の作成に尽力している。</p> <p>さらには、平成11年以降、「岩手山火山防災シンポジウム」において講演活動を行うなど、地域住民に対する普及啓発にも力を入れるなど、長年にわたり岩手県の火山防災対策を牽引し、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	兵 庫 県
ふ り が な 氏 名	まつはら いちろう 松 原 一 郎
住 所	兵庫県神戸市
職 業	関西大学社会学部教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は、社会福祉学の専門家として、兵庫県阪神・淡路大震災復興計画策定調査委員会委員をはじめ、復興計画後期5か年推進プログラムフォローアップ委員会委員、震災対策国際総合検証会議検証委員、復興10年委員会委員等、復興当初から5年、10年等の節目における復興計画及び復興事業の検証等において、被災高齢者の見守り対策等、社会福祉の観点から貴重な検証提言を行った。</p> <p>また、災害時の高齢者や障害者等の災害時要援護者対策などについて、内閣府「要援護者の避難支援に関する福祉と防災の連携に関する検討会」委員、内閣府「被災者生活再建支援制度に関する検討会」委員、厚生労働省「大規模災害救助研究会」委員等を歴任し、専門的見地から検証・提言を行った。</p> <p>上記のように、防災と福祉の連携の重要性について早くから提言し、兵庫県内はもとより、国における防災減災対策の充実に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [災害時の防災活動、防災思想の普及]

推 薦 者	日 本 赤 十 字 社
ふ り が な 氏 名	か とう の り こ 加 藤 典 子
住 所	岡山県玉野市
職 業	その他
功 績 の 概 要	<p>同氏は、平成30年7月豪雨に際し、日本赤十字社岡山県支部防災ボランティアリーダーとして、倉敷市災害ボランティアセンターにおいて運営支援活動に従事した。</p> <p>県内外からの災害ボランティアが集結する倉敷市災害ボランティアセンターでは、例年になく酷暑が続いたこともあり、支援側の体調管理を徹底する必要があり、同氏はボランティアセンターからの要請を受け、ボランティア活動の事前オリエンテーションにおいて、熱中症や感染症の予防レクチャーのリーダー的役割を担い、予防対策への周知を行った。また、ボランティアが活動終了し、帰着した際にもうがいの推奨や体調不良などがないかなど声かけを積極的に行い、ボランティアの安全な活動に寄与した。</p> <p>またその後も、避難所や仮設住宅での被災者の孤立を防ぐために、寄り添い支援として被災者の居場所づくりや人間関係づくりの一助となる活動へ参加し、現在に至るまで活動を継続しており、被災地の負担軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [災害時の防災活動、防災思想の普及]

推 薦 者	日 本 赤 十 字 社
ふ り が な 氏 名	や べ ゆ う じ 矢 部 祐 二
住 所	岡山県岡山市
職 業	その他
功 績 の 概 要	<p>同氏は、平成30年7月豪雨に際し、日本赤十字社岡山県支部防災ボランティアリーダーとして、災害ボランティアセンターにおいて運営支援活動に従事した。</p> <p>連日酷暑日となる悪条件の中で、災害ボランティアセンターに集まった多くの災害ボランティアに対し、熱中症や感染症予防に関するレクチャーを行い、ボランティアの安全な活動に寄与した。</p> <p>また、支部との連絡調整や他団体との協働、情報交換等を含め、ボランティアのコーディネーター役としての活躍も顕著であり、被災地の負担軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災思想の普及]

推 薦 者	福 島 県
ふ り が な 氏 名	ふなはし そうすけ 舟 橋 壮 介
住 所	福島県郡山市
職 業	自営業
功 績 の 概 要	<p>同氏は、郡山地方消防防災協会の理事として、会員事業所に呼びかけ、「防火管理部会」「危険物安全部会」「消防設備部会」が一体となって、また消防機関と連携を図りながら、防災に関する講習会や研修会、防災関連行事を開催することで、地域の防災対策に取り組んでいる。</p> <p>また、平成23年から（一社）福島県危険物安全協会連合会監事に、平成27年から（一社）福島県危険物安全協会連合会理事に就任し、豊富な識見と卓越した指導力により、「住民が安全で安心して生活できる地域づくり」をスローガンに、福島県内の危険物施設などにおける災害防止対策や火災予防に尽力しており、地域住民からの信頼も極めて厚く、円満な人柄の持ち主で、安全、安心な地域づくりに多大な貢献をしている。</p> <p>さらに、持ち前のあふれる情熱を持って今まで培った豊富な知識と経験を遺憾なく発揮し、災害発生時における協会加入事業所をはじめ、危険物施設等の防火・防災対策などに積極的に取り組んでいるその功績は誠に顕著である。</p>

功 績 概 要

個人 [防災思想の普及]

推 薦 者	三 重 県
ふ り が な 氏 名	い の う え た け ひ ろ 井 上 剛 弘
住 所	三重県志摩市
職 業	その他
功 績 の 概 要	<p>同氏は、平成19年度から平成30年度までの間、当該地域における防火・防災意識の向上を担うコミュニティの一つである、浜島町防火協会の会長として在籍し、その間、幼稚園児から中学生までの防火指導、思想の普及活動を実施したほか、地域住民に対しては、各種団体を交えた防火広報活動、各自治会や自主防災組織に対しての初期消火指導、事業所に対しての防火指導や心肺蘇生法指導の後援等を実施し、地域コミュニティが未来防災・防火を考える端緒となるよう、12年間にわたり寄与した。</p> <p>またその中でも、令和元年10月1日から義務化される小規模飲食店への消火器具設置につき、町内の飲食店を対象とした定例の防火巡回の際、消火器具の設置義務化について広報するなど、事前の防火対策を率先し進めたなど、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災思想の普及]

推 薦 者	福 岡 県
ふ り が な 氏 名	お お づ る し ろ う 大 靄 司 朗
住 所	福岡県筑後市
職 業	自営業
功 績 の 概 要	<p>同氏は長年にわたり筑後市防災協会の会長として安全で安心できる地域社会づくりを目指し、防火と関連付けたスポーツ大会の開催や、小学生による防火ポスターのイラスト募集等、幅広い年齢層の防火意識向上に努めているほか、危険物・LPGの保安の確保に尽力している。</p> <p>会員加入推進においては、氏の人格人望により多数の他業種事業所にも防災協会の趣旨、活動の理解が得られており、会員数の増加等を図り、筑後市防災協会の発展に寄与している。</p> <p>また、市体育協会へのAED寄贈、消防本部への車両の寄贈、熊本地震及び九州北部豪雨時の被災地への義捐金等、地域の防災力の向上や被災地の復興、被災者の支援に努めている。</p> <p>以上のように、火災予防運動の先頭に立ち積極的に活動しており、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [災害時の防災活動、防災思想の普及]

推 薦 者	大 分 県
ふ り が な 氏 名	お ば た は る お 尾 島 春 夫
住 所	大分県速見郡日出町
職 業	退職者
功 績 の 概 要	<p>同氏は、平成23年の東日本大震災以降、県内外の被災地に赴き災害ボランティアの活動に参加している。</p> <p>東日本大震災では、2週間後には被災地に入り、宮城県南三陸町で家族写真など思い出の品を探すボランティア「思い出探し隊」の隊長を務め、延べ500日間の活動を行った。</p> <p>また熊本地震では、熊本県益城町で、他のボランティアを統率し、がれきの撤去などを行った。</p> <p>その他、平成28年の台風16号災害（佐伯市）、平成29年の台風18号災害（臼杵市・津久見市）、九州北部豪雨（日田市）においてもボランティアに携わったほか、平成30年7月の西日本豪雨の際には、広島県呉市で民家から泥を掻き出す作業に従事、7、8、9月の3回、延べ60日間のボランティア活動（広島県呉市）を行った。</p> <p>氏はボランティアの際、必ず自家用車に食料や水、寝袋等の生活用具を積み込んで出勤し、被災地に負担をかけないことを信条としているなど、その行動が他のボランティアの模範となっており、被災地の復旧に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	秋 田 県
ふ り が な 名 称	きよくなんちくじしゅぼうさいくみあいれんごうかい 旭南地区自主防災組合連合会
所 在 地	秋田県秋田市
代 表 者 (団体での職名)	ささき きゅうざ えもん 佐々木 久左エ門
功 績 の 概 要	<p>同会では、昭和57年の結成から36年以上に渡り、秋田市の自主防災組織育成事業等を活用しながら火災予防や防災に関する独自の取組を行っていたが、近年では東日本大震災や平成29年7月の秋田県豪雨災害を契機として、「地区防災計画」、「震災時避難支援マップ」、「災害時要援護者支援ガイドブック」および「旭南地区避難所運営マニュアル」の作成や、地区の指定避難所である旭南小学校等での防災避難訓練、避難所開設運営訓練および防災タイムライン研修の実施に取り組んでいるほか、防災運動会を毎年継続して開催するなど、地域の防災力向上に努めている。</p> <p>また、他の防災組織の参考となるよう、これまでの活動実績を冊子にまとめた「防災活動の手引き」を作成する等、その活動の効果は域内に留まらず、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	埼 玉 県
ふ り が な 名 称	いずみだいじしゅぼうさいかい 泉 台 自 主 防 災 会
所 在 地	埼玉県上尾市
代 表 者 (団体での職名)	たざわ ろくぞう 田澤 六二
功 績 の 概 要	<p>同会は、平成6年の結成から25年間にわたり自主的に工夫した活動をしており、活動頻度も月2回以上と、その活動は他の自主防災組織よりも積極的であると認められる。</p> <p>活動内容としては、毎年防災訓練の実施や家庭用消火器の購入助成、定期的な防犯・防火パトロールの実施等多岐にわたるが、なかでも顕著なのは、独自性のある自主防災マニュアルとマップを作成しており、どの家庭でも見やすく、わかりやすくするために、表裏1枚で閲覧可能なものにし、全戸に配布している点は高く評価できる。</p> <p>さらには、自主防災会内での活動に限らず市の避難所運営会議にも積極的に参加しており、避難所開設訓練実施に協力するなど、市との連携活動にも大きく貢献をしている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	静 岡 県
ふ り が な 名 称	かたせくじしゅぼうさいかい 片瀬区自主防災会
所 在 地	静岡県賀茂郡東伊豆町
代 表 者 (団体での職名)	もりた かずのり 森田 一徳
功 績 の 概 要	<p>当該地区は、伊豆半島の東側にあり、一部が海岸に面し、内陸部は山間地となっているため、海域を震源とする地震が発生すれば津波被害の恐れがあり、また大雨時には、土砂崩れや川の氾濫等による災害の発生に警戒が必要な地域である。</p> <p>こうしたことから、同会は、昭和53年の設立以降、41年間にわたり、自主防災会長を中心に、自主防災会役員や町委嘱防災委員等地区内の関係者が連携し、地域が一体となり、各種防災訓練や防災資機材点検等の防災活動に取り組んでいる。</p> <p>災害の発生に備え、的確かつ迅速に対応できる体制を早くから構築し、町内の他の自主防災組織の模範となる活動を継続しており、同町の防災体制の整備において多大な貢献を果たしている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	愛 知 県
ふ り が な 名 称	みやじちょうないかいじしゅぼうさいかい 宮路町内会自主防災会
所 在 地	愛知県半田市
代 表 者 (団体での職名)	きかきばら ただし 榊原 正
功 績 の 概 要	<p>同会は平成21年より活動を行っており、子ども向けの内容も組み込んだ防災教室の開催、感震ブレーカーを始めとした防災器具の共同購入、独自に作成した町内防災マップに基づく防災訓練の実施、各家庭の現状把握と対策促進を目的とした戸別アンケートの実施等、地域防災力の向上に貢献している。</p> <p>また、誰もが防災活動に参加できるような環境を整えるため、知識の少ない人でも防災に関わりやすくなるよう定期的に防災教室を開催したり、親子連れでも参加しやすいよう紙芝居や工作等を取り入れるなど、地域住民の参画を促進することで地域コミュニティ形成の役割も担っている。</p> <p>加えて、自主防災会の役員においては、愛知県主催の事業において事例発表者を務める等広く評価されており、他の地域においても通じる模範的な取り組みは、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	京 都 府
ふ り が な 名 称	いまくまのがつくじしゅぼうさいかい 今熊野学区自主防災会
所 在 地	京都府京都市東山区
代 表 者 (団体での職名)	たけしま こうぞう 竹島 耕二
功 績 の 概 要	<p>同会では、「火事のない今熊野」・「災害に強い、安心安全のまち今熊野」を目指し、総合防災訓練、防災研修会、普通救命講習会、防火講習会等、活発に活動を行っている。</p> <p>自主防災部ごとに防火講習会を実施し、会長以下本部役員が出席のうえ、会長自らが災害時における自助・共助の必要性を訴え、地域住民に対して顔の見える関係を築きながら、地域住民全体の防火・防災意識の高揚に努めており、さらには防火講習会と併せて「防災まちあるき」を実施し、地域住民が自分達の町内を歩くことで、坂道や階段などの地域特性の把握と、災害時の避難経路や避難場所の確認等を行い、コミュニティの防災力を高めている。</p> <p>また同会独自で防災に関する専門家を招いて防災研修会を実施し、今熊野学区の特性である高低差がある地域での避難方法や対策などを協議する等、コミュニティの防災力を高める活動を積極的に行い、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	広 島 県
ふ り が な 名 称	しんだてじちかい 新建自治会
所 在 地	広島県広島市
代 表 者 (団体での職名)	うめの <small>てるゆき</small> 梅野 照幸
功 績 の 概 要	<p>同会は、平成26年8月豪雨災害の際に、固定電話で避難情報の連絡を回したものの、停電や浸水等で通じなかったことを教訓に、自治会独自で避難体制の整備を進め、雨量計を一台設置するとともに、自治会独自の「防災メールシステム」と「安否確認システム」を開発した。</p> <p>雨量計の情報は自治会ホームページで常時確認することができ、設定した基準を超えると自治会の登録者に自動的に避難を呼びかけるメールが送信される仕組みとなっている。</p> <p>また安否確認システムは、素早い救助に繋がれるように、住民ごとに識別するQRコード付きのカードを配付し、安否情報や位置情報を簡単に入力することができ、障害者や一人暮らしの高齢者など、支援が必要な人を一目で確認することができる。</p> <p>防災メールシステムの登録者は自治会内の6割以上の120世帯、安否確認システムは全世帯が登録している。自治会内では、システムを使った防災訓練や高齢者に向けてシステムの使い方を教える勉強会等を開催している。その中で明らかになった課題等に対応するために、毎年機能の充実やシステムの拡充を図り、より実用的に活用できるように取り組みを続けている。</p> <p>こうした取り組みの結果、平成30年7月豪雨の際には、自治会独自で早めの避難を呼びかけ住民の被害を防ぐことができたなど、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	徳 島 県
ふ り が な 名 称	つだしんはまちくじしゅぼうさいかいいんらくきょうぎかい 津田新浜地区自主防災会連絡協議会
所 在 地	徳島県徳島市
代 表 者 (団体での職名)	やまぐち かつひで 山口 勝秀
功 績 の 概 要	<p>同会は、長年にわたり防災訓練、防災研修等を計画的に実施し、子どもを含む地域住民の防災意識と知識の向上に努めるとともに、自主防災会、津田中学校をはじめとする学校やコミュニティーセンター、消防団等各種団体と地域ぐるみの防災活動に取り組むための協力体制を確立している。</p> <p>さらに、「徳島市津田地区津波避難計画」や「津田新浜地区の津波避難を考える」と題した津波避難に対する啓発資料や、地域内の小中学校と連携して「避難所運営マニュアル」を作成し、実際に避難所となる小学校において避難所運営訓練を実施するとともに、避難経路の危険調査や避難場所を整備するなど、地域の「自助」・「共助」の意識向上と地域一丸となった防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	徳 島 県
ふ り が な 名 称	さこじしゅぼうさいかいいんごうかい 佐古自主防災会連合会
所 在 地	徳島県徳島市
代 表 者 (団体での職名)	こんどう きてい 近藤 哲
功 績 の 概 要	<p>同会は、阪神・淡路大震災の教訓をもとに「自助」・「共助」の重要性を認識し、平成11年4月1日の設立以降、地域住民参加型の防災訓練、災害図上訓練、救命講習及び防災研修等を定期的実施するとともに、火災予防週間中には地元消防分団、小学生、地域住民等と防火パレードなどの活動を行っている。</p> <p>さらに佐古地区は山に面した地形を有していることから、平成27年6月には広島市土砂災害を踏まえ、土砂災害を想定した避難訓練を実施するなど、平常時から「災害に強いまちづくり」に向けた防災活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>また、南海トラフ地震に備え、平成27年10月には「地震・津波避難支援マップ」を作成し、全世帯及び全事業所に配付するとともに、平成29年度には佐古地区の避難所となるコミュニティセンター及び小学校の「避難所運営マニュアル」を関係機関と共同で作成し、運営委員会を設立するなど、地域ぐるみでの防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	徳 島 県
ふ り が な 名 称	かもちくじしゅぼうさいれんごうかい 加茂地区自主防災連合会
所 在 地	徳島県徳島市
代 表 者 (団体での職名)	こてがわ しょうぞう 小手川 詔三
功 績 の 概 要	<p>同会は、加茂地区の47自主防災組織が連携し、平成19年6月26日に結成して以降、長年にわたり地域住民参加型の防災訓練、災害図上訓練、救命講習及び防災研修等を毎年継続して定期的実施している。</p> <p>また、南海トラフ地震の発生に備え、平成30年11月に加茂コミュニティ協議会及び徳島大学と合同で「地震・津波避難支援マップ」を作成し、地区内の全世帯及び全事業所へ配布するとともに、避難支援看板を作成し、設置した。</p> <p>さらに、地域と学校との連携強化を図るため、地区内の高等学校等と合同で避難訓練を実施するなど、常に地域防災力の向上に尽力しており、地域ぐるみでの防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	熊 本 県
ふ り が な 名 称	れんべいちょうじしゅぼうさいくらぶ 練 兵 町 自 主 防 災 ク ラ ブ
所 在 地	熊本県熊本市
代 表 者 (団体での職名)	うえの せいいち 上野 誠一
功 績 の 概 要	<p>同クラブは、役員の防災意識が高く、消防署員・消防団員・防災関係者参加のもと、定期的に防災訓練を実施するなど、地域の防災力の向上を図るための活動を継続して行われている。</p> <p>防災訓練には、100～200名の地域住民が参加しており、災害発生の初動における安否確認及び避難所である慶徳小学校までの避難誘導を行っている。訓練内容は、消火器取り扱い訓練、救急講習、地震体験、煙体験、ロープ結索などを地元消防団にも協力を呼びかけ、前例踏襲ではなく新しいことを取り入れるなど創意工夫が見られる。</p> <p>また、平成28年4月に発生した熊本地震では、自主防災クラブ員が中心となり高齢者世帯の声掛けや、避難所となった慶徳小学校での炊き出し活動などを実施された。</p> <p>上記のとおり、地域住民の防災意識の向上のみでなく、住民・消防団・学校との連携強化を図るなど地域防災力の向上に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	全 国 社 会 福 祉 協 議 会
ふ り が な 名 称	かぶしきがいしゃ ぜんりん 株 式 会 社 ゼ ン リ ン
所 在 地	福岡県北九州市
代 表 者 (団体での職名)	だいひょうりしまりやくしゃちょう たかやま ぜんし 代表取締役社長 高山 善司
功 績 の 概 要	<p>同社は、我が国最大手の地図情報会社として、昭和23年から自主調査による住宅地図の作成を開始し、平成29年には島しょ部も含めて全国すべての住宅地図を完成させるに至った。</p> <p>企業活動の要である住宅地図情報について、平成23年に発生した東日本大震災以降、災害発生時に最新地図を無償で被災自治体に提供するとともに、一定期間の地図複製を許諾しており、被災自治体では被災地の復旧・復興に迅速に取り組むことが可能となっている。</p> <p>また、主に大規模災害時に被災地の社会福祉協議会が設置・運営する災害ボランティアセンターでも、ゼンリンの住宅地図やシステムが無償で提供されるとともに、地図の複製許諾により効果的な活動が進められている。具体的には、被災者から電話等でボランティアによる支援ニーズを受け付ける際の速やかな特定、土地勘の無いボランティア活動者が活動に赴く際の支援場所の速やかな特定、さらに支援の漏れが発生していないか等の情報共有など、業務が大幅に軽減され、ボランティア活動を進める上で大きな支援となっている。</p> <p>上記のほか、社会貢献活動として地図情報を活用した地域への防災教育等も積極的に進めており、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	広 島 県
ふ り が な 名 称	やのみなみがつくじしゅぼうさいかいかいれんごうかい 矢野南学区自主防災会連合会
所 在 地	広島県広島市
代 表 者 (団体での職名)	うらの のりもと 浦野 紀元
功 績 の 概 要	<p>同会は、平成30年7月豪雨に際し、市内で最も避難者の多かった矢野南小学校の避難所運営を行政、学校、地域住民、ボランティア等と連携して円滑に行った。</p> <p>避難所運営においては、運営委員会を設立し、避難所の運営ルールを作成し、また、避難所内では「〇〇はダメ、できない」等の禁止事項を述べるのではなく、「〇〇しましょう」といった柔らかい表現を使用することで、厳しい状況にある避難者の生活を少しでも快適に送れるように配慮した。</p> <p>さらには避難所のフェーズ毎に外部からの支援を的確に受け入れ、避難所の環境整備や避難者のストレス軽減を図ったほか、被災者が早く元の生活に戻るための生活再建支援の相談等を行った。</p> <p>上記のように、避難者に寄り添った活動で、避難者の負担軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	広 島 県
ふ り が な 名 称	うまきちくしゃかいふくしきょうぎかい 馬木地区社会福祉協議会
所 在 地	広島県広島市
代 表 者 (団体での職名)	なかい きみたか 中井 公孝
功 績 の 概 要	<p>同会は、平成30年7月豪雨に際し、地域団体間の連携を密にして、避難所の運営や被災者宅内の土砂等の撤去など、被災者支援活動に尽力した。</p> <p>日頃の活動の中で、自らの地域は自らが守るという意識を根付かせていたため、支援活動を行う際の人的・物的資源をほぼ地域内で完結させたほか、平時から地域団体間の連携を取っていたことで、人や物資の手配連絡等、初動が非常に速かった点、外部団体との連携によりきめ細やかな支援を行った点は特筆に値する。</p> <p>被災者宅を頻繁に尋ね、ニーズをリアルタイムに把握し必要に応じて行政につなぐ等、避難者に寄り添った活動で、被災者の負担軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	広 島 県
ふ り が な 名 称	はたかがつくれんごうちょうないかい 畑賀学区連合町内会
所 在 地	広島県広島市
代 表 者 (団体での職名)	つちとり きよし 土取 潔
功 績 の 概 要	<p>同会は、平成30年7月豪雨に際し、避難所となった小学校で被災者へ食料を提供するとともに、避難所に来られない高齢者世帯等へ弁当配布を行った。</p> <p>また、環境の整った畑賀福祉センターを避難所として使用できるよう調整するなど、避難生活の環境改善に取り組むとともに、土砂撤去などの復旧作業にも尽力した。</p> <p>避難所開設中は毎日役員が避難所に常駐し、避難者のニーズをリアルタイムに把握し必要に応じて行政につなぐ等、避難者に寄り添った活動で、避難者の負担軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	広 島 県
ふ り が な 名 称	せのがつくこみゆにていこうりゆうきょうぎかい 瀬野学区コミュニティ交流協議会
所 在 地	広島県広島市
代 表 者 (団体での職名)	かねつき せつお 金月 節男
功 績 の 概 要	<p>同会は、平成30年7月豪雨に際し、瀬野福祉センターを拠点として、災害直後の食料がない中で炊き出しを行うとともに、被災建物の状況把握に努め、土砂撤去に必要なボランティアを手配するなど、被災者の早期生活再建に向けて尽力した。</p> <p>その他、復旧作業の進捗管理やボランティアのケア、地域及び被災者への情報提供を行ったほか、支援や情報発信に関して行政のつなぎ役となる等、幅広い活動で避難者の負担軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	日 本 赤 十 字 社
ふ り が な 名 称	にほんせきじゅうじしゃおおさかふしぶ ぼうさいぼらんていあうんえいいんかい 日本赤十字社大阪府支部 防災ボランティア運営委員会
所 在 地	大阪府大阪市
代 表 者 (団体での職名)	いいんちょう なかやま しげゆき 委員長 中山 重幸
功 績 の 概 要	<p>同委員会は、平成30年6月18日に発生した大阪府北部地震において、発災直後から日本赤十字社大阪府支部（以下「日赤大阪府支部」という。）のボランティア担当課と連絡を密にとりながら運営委員会ボランティアの活動調整に関わり、協力要請のあった茨木市と高槻市の災害ボランティアセンターの運営支援を行った。</p> <p>今回は被害が比較的局地的であったため、社会福祉協議会の職員は自らも被災しながら通常業務を継続させ、同時に災害ボランティアセンターの運営も行うという、大変過酷な状況に置かれた。そのような中、災害ボランティアセンターでは、被災地で活動を希望するボランティアの登録や活動ニーズとのマッチング等の活動に従事したほか、被災された市民から寄せられるニーズを丁寧に聞き取り、ボランティアの活動場所を特定していくなど、現場とボランティアを効果的に結び付けていく活動に努めた。その他、現場に赴くボランティアに対する安全管理（主に熱中症対策として注意喚起や冷たいおしぼりや水の提供）や資材の整理・準備、活動報告の聞き取り等、運営する職員に寄り添って、被災地・被災者に対し効果的な活動ができるよう支援にあたった。</p> <p>結果的に、高槻市では22日間、茨木市では27日間活動を継続し、のべ97人の運営委員会が活動に参画し、関係者から高い評価を受けた。その後も、自らの活動経験を広く発信するとともに、将来の活動に向けて自主勉強会を開催しており、さらに、災害時の支援に携わる関係機関との協力・連携を積極的に推進するなど、その活動は他の模範となるものであり、功績は誠に顕著である。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	岩 手 県
ふ り が な 名 称	こがわちくじしゅぼうさいきょうぎかい 小川地区自主防災協議会
所 在 地	岩手県下閉伊郡岩泉町
代 表 者 (団体での職名)	もりた としまさ 守田 敏正
功 績 の 概 要	<p>同協議会は、結成以来、小川地区防災計画の作成、自治会単位の防災訓練の実施、防災・減災の手引「土砂災害これさえ有れば」の作成・全戸配布するなど、地域住民の防災意識向上に努めてきた。</p> <p>また、平成28年8月の台風第10号豪雨災害を教訓とし、小川地区防災計画や、防災・減災の手引「土砂災害これさえ有れば」の見直しを行い、見直し版の全戸配布を行っているほか、台風災害以降、地域内の学校や、福祉施設への防災講話なども行うなど、地域住民の防災意識の向上に向けた活動により、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	新 潟 県
ふ り が な 名 称	ちゅうえつしみんぼうさいあんぜんしかい 中 越 市 民 防 災 安 全 士 会
所 在 地	新 潟 県 長 岡 市
代 表 者 (団体での職名)	かいちょう きし かずよし 会 長 岸 和 義
功 績 の 概 要	<p>同会は、市民に対して防災に関する多様な相談に応じる「防災よろず相談」の窓口を常設し、事務所において週4日地域の実情に合ったアドバイスを行っているほか、地域の防災訓練等に年間延べ約200人の講師を派遣し、救急訓練指導や講話等を行うなど、日常的に市民防災力の向上に寄与している。</p> <p>また、初めて地域の防災リーダーを務める新任者を対象とした「自主防災会長初任者研修会」、市内の特色ある防災活動を紹介する「防災活動事例発表会」などの集合研修の開催を献身的に支え、自主防災活動の活性化にも貢献している。</p> <p>さらに、平成28年の熊本地震以降は、市と民間関係団体の官民協働ユニットによる被災地支援に同行し、全国の被災地で被災者に寄り添ったきめ細やかな支援を行っており、被災地支援の経験と教訓を本市の地域防災力向上に活かしている。</p> <p>以上のように、地域防災力向上に資する活動をもって、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	愛 知 県
ふ り が な 名 称	おんたけぼうさいかい 御 岳 防 災 会
所 在 地	愛知県日進市
代 表 者 (団体での職名)	にのみや ともあき 二宮 友明
功 績 の 概 要	<p>同会は、平成27年より、御岳防災サポートの会との共催で、阪神・淡路大震災が発生した1月17日と東日本大震災が発生した3月11日を足した4月28日の近い日に、「みんなで考えよう防災・減災～忘れない阪神・淡路、東日本大震災～」を毎年開催し、防災ビデオの上映会やバッククッキング、防災クイズなど、地域の関係団体と連携しながら防災思想の普及啓発について創意工夫を凝らしながら展開し、高齢者から子どもまで幅広い年代とのつながりを築きあげてきた。</p> <p>また、毎年行われる防災訓練では安否確認訓練で玄関先にタオルかけなどを行い85%以上の安否を確認し、通信機の取り扱いの確認や資機材の点検なども実施。</p> <p>これらの活動は、地域防災力の強化推進に大きく寄与しており、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	広 島 県
ふ り が な 名 称	みいりがつくじしゅぼうさいかいいれんごうかい 三入学区自主防災会連合会
所 在 地	広島県広島市
代 表 者 (団体での職名)	あたらしき のぶひろ 新木 信博
功 績 の 概 要	<p>同会は、「ぼうさい碑」を三入小学校敷地内に建立し、三入小学校の防災教材として活用するとともに、児童と地域住民の交流の場を創出し、地域防災力の向上に寄与しているほか、三入小学校と連携し、平成26年8月豪雨災害の経験を踏まえた紙芝居「だい好き！ふるさと三入」を作成し、被災体験の継承や防災意識の醸成に寄与している。</p> <p>また広島市立大学と連携し、上記災害時に土石流の発生した桐原川に防災カメラを設置し、映像等の配信を行うとともに、住民同士の直接声掛け避難を実施しており、平成30年豪雨災害時には、住民の早期避難につながった。</p> <p>上記のように、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	福 岡 県
ふ り が な 名 称	いとしましぼうさいきょうかい 糸島市防災協会
所 在 地	福岡県糸島市
代 表 者 (団体での職名)	よしだ まさあき 吉田 正明
功 績 の 概 要	<p>同会は、昭和37年の設立以降、防火管理者及び危険物取扱者に関する講習会の開催や火災予防の啓発活動を、長期に渡り継続して実施し、地域住民の防災意識の高揚に寄与している。</p> <p>また平成6年度からは、火災予防普及啓発のため、山火事防止の大型立看板を設置・改修し、現在に至るまで管内7箇所の子な登山ルート等で維持管理を継続するなど、登山者に山火事の注意喚起を行っている。</p> <p>さらには、平成17年度からは普通救命講習、平成20年度からは応急手当普及員講習を毎年開催して、地域住民の救命率の向上に貢献するなど、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	日 本 赤 十 字 社
ふ り が な 名 称	ちばけんせきじゅうじぼうさいぼらんていあすいしんきょうぎかい 千葉県赤十字防災ボランティア推進協議会
所 在 地	千葉県千葉市
代 表 者 (団体での職名)	かいちょう しみず しげひこ 会長 清水 重彦
功 績 の 概 要	<p>同協議会は、平成19年の設立以来、各地域における防災思想の普及及び防災体制の強化のために、県内を7つのブロックに分け、そのブロック単位で防災ボランティアが主体的に活動を継続してきた。</p> <p>災害時に活動する防災ボランティアの拡充を図るため、一般住民を対象とする同ボランティアの説明会を開催して登録者を増やし、ブロック単位でも主体的に研修を重ねていくことによって、災害時に活動するボランティアの養成に努めてきた。また、自助・共助の意識啓発を図るため、説明会の中に防災減災の講義、炊き出しや救急法を取り入れる等の工夫をし、防災意識の普及にも尽力している。</p> <p>他団体と協働しながら災害ボランティアとして活動をし、また赤十字の第一義的な使命でもある災害救護活動をボランティアの立場で協力支援をしてきており、東日本大震災や県内の風水害においても活動実績がある。説明会や研修によって防災ボランティア拡充・技能向上に努めつつ、防災思想の普及に取り組んだ功績は非常に顕著である。</p>